



2023年3月20日

各位

会社名 名港海運株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 広
(コード番号 9357 名証メイン)
問合せ先 常務取締役 三谷 正芳
(TEL 052-661-8244)

サステナビリティ方針の策定およびマテリアリティ(重点課題)の特定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社グループにおけるサステナビリティ方針の策定およびマテリアリティ(重点課題)の特定について決議しましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ方針

当社は、港湾運送事業を中核とした総合物流企業として適正な利益の確保と会社の安定・成長を図り、企業活動のプロセス全般において、社員一人ひとりが「CSRに基づいた行動」と「ESGに配慮した活動」をとることで、持続可能な社会の実現への貢献と、企業価値の向上を図ってまいります。

2. マテリアリティ(重点課題)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 気候変動への具体的な取組み、脱炭素社会実現に向けた対応 |
| 2. 事業継続体制の構築、企業・組織レジリエンスの強化 |
| 3. 地域社会への貢献、事業を通じた経済への貢献 |
| 4. 働き方改革から働きがい改革へ、従業員の労働生産性の向上 |

以上

名港海運のサステナビリティ

ステークホルダーの皆様とともに
より一層の会社の成長と安定を図るために



脱炭素社会の実現に代表される環境問題やさまざまな社会課題への対応、SDGsへの貢献を念頭に、社内プロジェクトチームによる活動を通じて当社の具体的な取組みについて検討を進めました





特定されたマテリアリティと 当社の具体的な取組み

マテリアリティ	1	2	3	4
社会課題や当社課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動への具体的な取組み ● 脱炭素社会実現に向けた対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業継続体制の構築 ● 企業・組織レジリエンスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会への貢献 ● 事業を通じた経済への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ● 働き方改革から働きがい改革へ ● 従業員の労働生産性の向上
当社の具体的な取組み例	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流拠点や事業所の一層の省エネ促進 ● 荷役機器や社用車のCO2低排出化の推進 <p>SDGs目標への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な状況変化から生じる事業継続への脅威や困難を想定した、実践的なBCP体制の構築と継続的発展 <p>SDGs目標への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社や耐震性の高い物流拠点を、自治体が定める津波避難ビルに登録 <p>SDGs目標への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務のICT化や、物流拠点での最新機器導入による従業員の負荷軽減と、省力化・省人化の推進 <p>SDGs目標への貢献</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸送車両のラウンド輸送やモーダルシフトを提案し、輸送から排出されるCO2削減を推進 <p>SDGs目標への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社や物流拠点、事業所への非常用発電装置の設置、物流拠点の経年更新時期及びその内容の検討 <p>SDGs目標への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社ステークホルダーとの関わりにおける地域貢献活動の積極参加や寄付行為の実施 <p>SDGs目標への貢献</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流拠点のトラックバス予約導入や作業改善を推進、輸送車両の待機時間を削減し2024年問題に対応 <p>SDGs目標への貢献</p> 